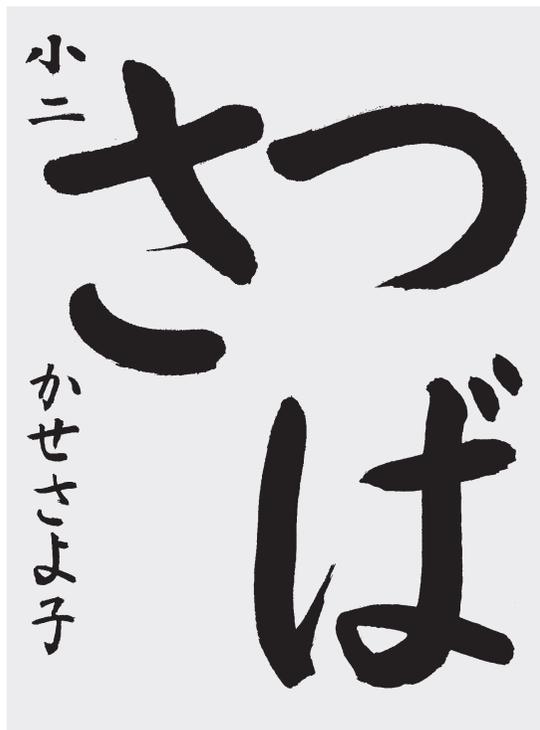


〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。  
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本



加瀬澄春先生

幼・小学1年参考手本



田中扇溪先生



柳橋香仙先生



田村鄭雲先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本

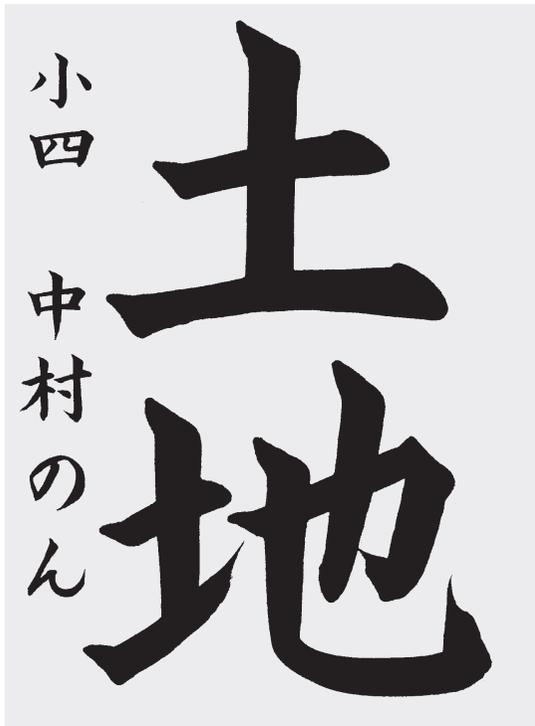


広瀬舟雲先生

小学3年参考手本



最首翠風先生



工藤永翠先生



小浜大明先生

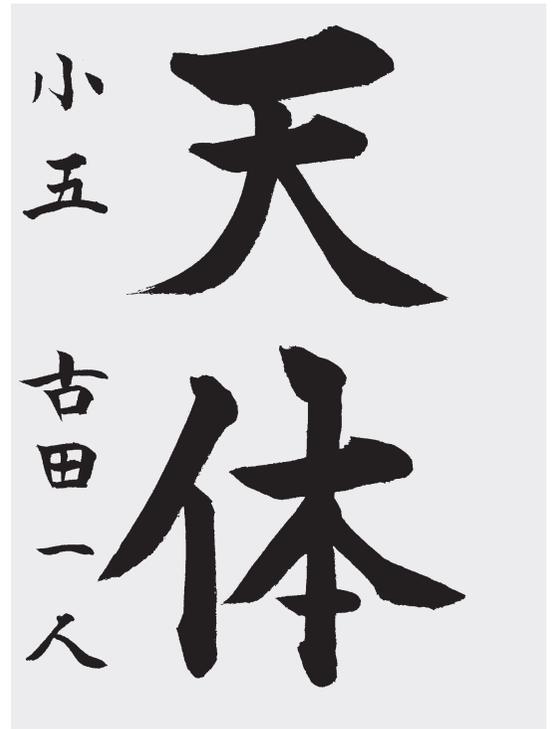
〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本

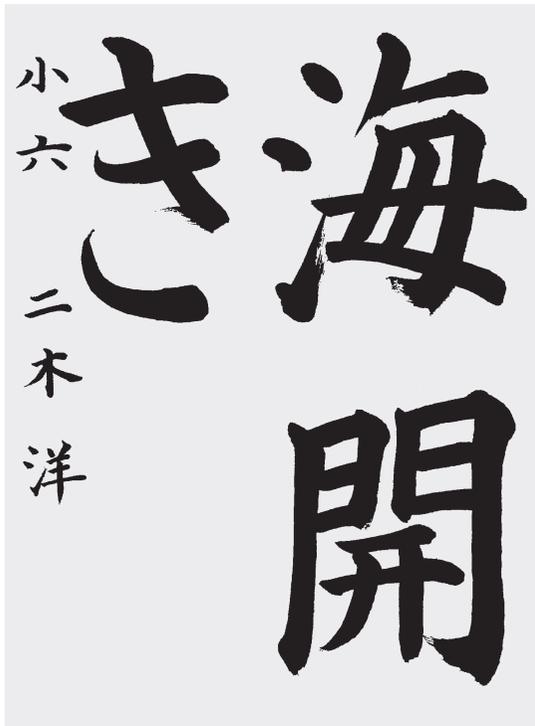


小竹石雲先生

小学5年参考手本



後藤大峰先生



坂本素雪先生



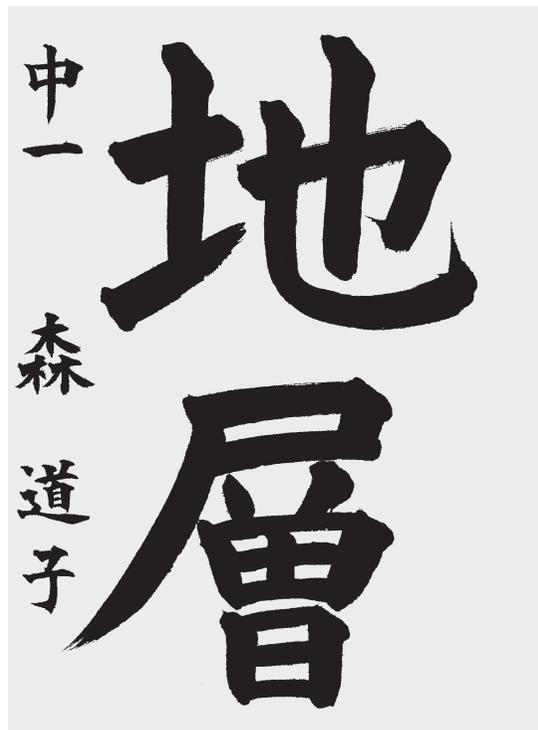
崎井恵風先生

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

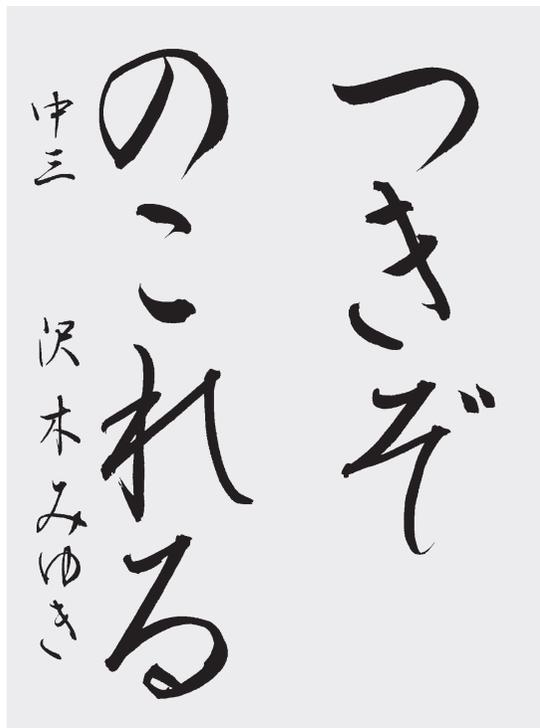
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



辻元大雲先生



半田藤扇先生



石井明子先生



名越蒼竹先生

毛筆参考手本解説(1)

1年

け

つなげる  
きもちで

〈筆順〉  
計計計け

て

とめる

〈筆順〉  
天天て

つ

はらう

川川つ

2年

わ

つなげる  
きもちで

波波波は  
左左ささ

え

とめる

〈筆順〉  
衣衣ええ  
乃乃のの  
久久ええ

3年

花

はねの上部あげる

〈筆順〉  
一サササ  
花花

許容  
ほうちう  
方向とめ

許容  
〈筆順〉

山

少し出る

〈筆順〉  
一山山

里

左右の縦部は内側に  
向ける

〈筆順〉  
一フフ甲  
甲里  
最大幅

4年

左

約60度の角度で  
長く払う

工は中心より右側に

〈筆順〉  
一ナナ左

右

口は中心より右側に

〈筆順〉  
右ノナオ右

土

縦面と横面は互いに二等分

三画目は一画目の  
一・五倍の長さ  
〈筆順〉  
一十土

地

はねの上部は  
あける

〈筆順〉  
一ナナ地  
地地  
許容  
也 払い

5年

天

中心

〈筆順〉  
一三天天  
許容

木の下部の  
画間は  
等しく

〈筆順〉  
ノナナ休休  
休休

イは幅を  
狭くする

許容  
はね

雨

左右の縦部は内側に  
向ける

〈筆順〉  
一ナナ雨雨  
雨雨

許容  
長短 方向

横面の  
中央で  
浅く接  
する

宿

点は左下へ  
向かって止める

〈筆順〉  
一ナナ宿宿  
宿宿

許容  
方向 はなす

熱気

はねの上部はあける

熱気  
ハの二・三画目の下部をあける

熱気  
ハ 熱 熱 熱  
ハ 熱 熱 熱

許容

曲直  
止め  
ハ 熱 熱 熱

海開

海開  
毎の三〜五画は徐々に開く方向に

左右の横画は一直線上にそろえる

海開  
余白

等間隔

海開  
メは中心より左側に

筆順

海開  
海 海 海 海

筆順

海開  
海 海 海 海

層

層  
層は中心より右側に  
約60度の角度立てぎみに払う

筆順

層 層 層 層

許容

はなす

層 層 層 層

星

左右の縦画は内側にむける

星  
最終画は最大幅で上にそらす

筆順

星 星 星 星

許容

はなす

星 星 星 星

探

探  
木の下部の画間は等しく  
縦画は横画の二対一の所で交わる

許容

探 探 探 探

筆順

探 探 探 探

つきぞのこれる

百人一首

ほととぎす鳴きつる方を眺むればただ有明の月ぞ残れる

作者

後徳大寺左大臣

現代語訳

ほととぎすの鳴き声が聞こえたのでその方に目をやってみたが、その姿はもう見えただだ明け方の月が淡く空に残っているばかりであった。

ひらがなの字源

(332)

る	れ	こ	の	ぞ	き	つ	源字	字形
留	礼	己	乃	曾	幾	川		
る	れ	こ	の	ぞ	き	つ		

\*源字については、異字体から変遷したものに\*印を付して()にその字体を記した。  
\*字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

書写教育  
全国大学書写書道教育学会編より転載

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 2 年

幼・小学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

支 部 名	行 き の バ ス で す。  こ れ は 、 と な り 町			
段・級				
学 年				
名 前				
二 次 田 道 行				

支 部 名	が ふ っ て く る。  ふ じ は ら れ ん	き ら ら き ら ほ し		
だん・きゅう				
がくねん				
一				
なまえ				



「つくり」が大きい



「」をさげて書く

1  
2  
「はら」  
「ひつじゅん」にちゅうい

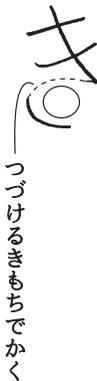
『バス』  
「町」の字形を正しくかきましょう。



とめ  
そる



とめ  
右上へきもちをつづける



とめ  
つづけるきもちでかく

『ほし』  
「とめ」「はね」をただしくかきましょう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

※前号の予告課題小四の「始め」を「初め」に訂正いたしました。

支 部 名			
段・級			
学 年	四		
名 前	小早川京		
	よ う な 暑 い 日 で す。 。	夏 が い き な り 始 ま っ た	六 月 の 初 め。 今 日 は

支 部 名			
段・級			
学 年	三		
名 前	今野友広		
	記 を 書 い て い ま す。 。	わ た し は 毎 日 、 日	

暑

長さと方向に注意  
長く

始

く々々始  
〈筆順〉

初

とめ、ネネネネ  
※「ネ」は示(しめすへん)  
「ネ」=衣(ころもへん)の筆順

「六月」  
「へん」と「つくり」の組み立て方に気をつけて書きましょう。

書

よこ分間を開きすぎない  
〈筆順〉  
長く

記

言(ごんべん)の形に気をつけて書きましょう

毎

とくに、「毎」の字形を正しく書きましょう。  
長く  
〈筆順〉  
へん々々毎

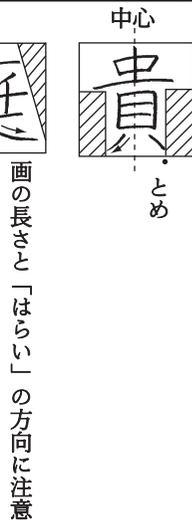
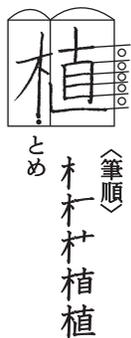
〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

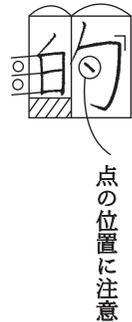
小学 5 年

支部名	庭	菊	
	に	を	め
段・級	植	五	ず
	え	株	ら
学 年	ま	も	し
	した。	ら	く
名 前		っ	て
		て	貴
		、	重
		校	な

支部名	ま	的	
	と	は	今
段・級	め	、	日
	る	交	の
学 年	こ	流	話
	と	会	し
名 前	と	の	合
	で	提	い
	す。	案	の
		を	目



「きく」  
文字の外形を見て字形を整えましょう。



『話し合い』  
左右のつりあいよく、字形を整えましょう。

〔6月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学生（行書）

中学生（楷書）

支部名					
段・級					
学年	中一				
名前	広田大聖				

の空気が私を出迎えてくれた。  
 ると、雄大な景色と清らかな山  
 ロープウェイで山頂まで登

支部名					
段・級					
学年	中一				
名前	広田大聖				

の空気が私を出迎えてくれた。  
 ると、雄大な景色と清らかな山  
 ロープウェイで山頂まで登

登	大
登	大
登	大

楷書

行書①

行書②

・行書のワンポイントアドバイス  
 右はらいの形には、一二通りあります。  
 行書①は右はらいの終筆を軽く止めていきます。△印  
 行書②は、逆にそり、終筆をしっかり止めています。●印

中心

雄大な景色と

『ロープウェイ』  
 漢字、ひらがな、カタカナをつりあよく書きましよう。

〈筆順〉  
 フ タ タ へ へ 登



字形

へ へ 白 印 迎

バランス注意

# これからの作品締切日と課題

7月号～12月号までの作品締切日と毛筆課題

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切日	
歩砂 く浜を	適切	健康	参加	パンダ	人口	はいく	の	7月8日	7月
<small>開さや 岩にしみ入る 蝉の声</small>	宇宙遊泳	文化財	林間	七色	千本	さんご	あめ		
波打ち際	湖畔	道路	思いやり	節水	青い	こかげ	ろ	8月7日	8月
<small>古池や 蛙とびこむ 水の音</small>	異口同音	船乗り	海底	美しい	上下	ハム	にじ		
三筆	平安の	遺唐使	美術	馬車	平行	月見	むすび	9月9日	9月
<small>あきかせそ ふく</small>	無我夢中	心構え	読む	虫のこえ	光る	おんぷ	ふえ		
秋の夜長	競技	庭園	青空	考える	水玉	このは	ら	10月6日	10月
かげの さやけさ	一步千金	書留	里の秋	風力	ランプ	もみじ	きく		
お持て 成し	縮図	街角	秋冬	木の葉	点	あかり	ひ	11月10日	11月
つゆにつ ぬれつつ	漢和辞典	現代の書	気配り	集中	火山	おやつ	そら		
字源を 知る	温暖化	ブランド	公表	詩人	マウス	まほう	お	12月5日	12月
かかれぬと おもへば	風力発電	誠実	理想	もみの木	森	ひなた	かぶ		

7月号の硬筆課題 ※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

幼・小1

い	も
え	り
が	の
あ	な
り	か
ま	に
す。	

小 2

て	花
き	だ
ま	ん
し	に
た。	草
	が
	生
	え

小 3

に	兄
帰	と
り	い
ま	っ
し	し
た。	ょ
	に
	家

小 4

で	青	大
い	い	き
き	空	な
ま	を	白
ま	ゆ	い
し	っ	飛
た。	く	行
	り	船
	飛	が
	ん	

小 5

が	果	大
目	を	変
標	全	だ
で	部	っ
し	出	た
た。	し	切
	る	る
	こ	の
	と	成

小 6

考	物	共
え	事	通
る	を	点
働	ま	を
きの	と	見
一	め	つ
つ	る	け
です。	こ	出
	と	し
	が	

中学生

パン	近
が	頃
見	は、
直	安
さ	全
れ	で
て	健
い	康
る	に
	よ
	い
	も
	の

# 書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科長・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、書道芸術院展常任総務です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「明解・書写教育」などがあります。

## 第27回 小学校での学習漢字・筆順「馬・長・(佳)」

「上」と「止」。小学校で学習するこれら漢字の筆順は「正」の筆順を基に定められたというお話をしました。ですから、その覚え方として私は、『正』は筆順のお母さん。そこから生まれた『止』と『上』と教えています。

今回は、やはり誤りやすい「馬」と「長」の筆順について見てみようと思います。「馬」の第一画目は「横画と縦画どちらが先？」これも迷う漢字として有名です。どちらが先かちょっと検証してみようと思います、まず前々回と同様、画と画を続けて書いてみる方法で比べてみました。①は横を先に、②は縦を先に書いてみました。



すると、②は、上部の画と画の間の空間が広いのに対して、①は、文字の中の空間が少し狭い感じがしませんか。つまり①は一画目(横画)の終筆から二画目に続けると、その連綿線が近道を通過することによって、楷書の時には広がった縦画と横画(4・5画目)周辺との空間が微妙な変化で判りにくいかもしれませんが、行書にすると少し押しつぶされたように見えるので

す。「長」についても同様な事が言えます。



次に「止・上」の筆順の時と同様、両字の筆順に共通する構造の母体となる字が無いかを探ると、「馬・長」にもあることが判ります。それは「佳」です。部首名としては「ふるとり」ですが、これを文字とすると「スイ・サイ・とり」と読み、最初左側にある「イ」を書いてから右側の部分の筆画を始筆が上部にあるものから順番にそれぞれの画を下に向かって書いていくと完成する漢字です。小学校での学習漢字として「佳」は単独では出てきませんが、「集」「進」などという形で出てきます。「馬・長」の上部の字形は、「佳」の筆画の部分構造と同じと言えます。「同じ字形は同じ筆順」という法則からみると、『佳』が筆順の母体、『馬・長』は、その同じ筆順DNA(遺伝子)を持つ親類」といえますよ。



(つづく)

今月のホープ



中三 石原 きらら (東葉支部)

しっかり着実な筆使いで安定した行書表現です。名前もていねいでバランスよくまとまっています。



小三 平野 ゆな (雲母支部)

<sup>かま</sup>構え、<sup>おお</sup>とても大きく、ゆったりとした<sup>うんびつ</sup>運筆、<sup>きほん</sup>基本に<sup>ちゅうじつ</sup>忠実に<sup>か</sup>書いている。  
<sup>ちからづよ</sup>力強く<sup>りっぱ</sup>立派です。

支那名	記	年	
正華	録	。	小
段・級	を	思	学
学年	作	い	生
氏名	り	出	と
六	た	に	し
奥住	い	残	て
和華	。	る	最
		学	後
		習	の

小六 奥住 和華 (正華書支部)

切れ味のある書線で充実の作。名前まで一貫して注意が注がれ見ごたえのある作となっている。

支那名	を	湖	
光峰	照	に	太
段・級	ら	面	陽
学年	し	した	が
氏名	て	林	高
熊代紗羽	い	の上	く
	る	の	の
	。	ぼ	り
		り	、
		の	
		雲	

小四 熊代 紗羽 (光峰支部)

一字毎心のこもった運筆で全体を調和よくまとめ、落ちついた美しい字形に魅力を感じます。

書道芸術院春華賞

第72回書道芸術院展



「真心」

大石 仙岳



前衛書部  
大石 仙岳

お陰さま  
第72回書道芸術院展にお  
きまして、栄えある「春華  
賞」の特別賞を頂き、誠  
に有り難うございました。  
今回の出品作品の題名は  
「真心」であり、これまで積  
み上げてきた集大成のつも  
りで作りました。  
今回の受賞の背景には、  
師の浜谷芳仙先生をはじめ、  
書径会員の御支援によるもの  
だと、深く感謝いたしております。  
前衛書は、常に斬新な試作  
と日頃の臨書によって線質の  
鍛錬の結果だと反省しており  
ます。  
今後、更なる精進を積み  
重ねて、腕を磨き、書の改革  
に努めたいと思います。今回  
の受賞はそのご教示である  
と思ひ、まだまだ未熟者で  
すので、よろしくご支援お願  
い申し上げます。



「不退転」

種谷 悠輝



漢字部  
種谷 悠輝

書道芸術院大賞

この度は、栄誉ある大賞を頂き、  
誠にありがとうございます。未熟  
な私が、このような賞を頂きまし  
たのも、書道芸術院の先生方と日頃  
より優しく、時には厳しく指導、助言  
してくださる先生方や諸先輩方の応援  
があったの事と深く感謝し厚く御礼申  
し上げます。  
今回展で、私は「不退転」という  
言葉を書きました。何事も屈すること  
なく、突き進む決意をもって今後も頑  
張っていきたいと思っております。こ  
の受賞を糧に初心を忘れず、精進を  
重ね、書の普及、発展のため少しでも  
も役に立てるよう活動してまいります  
ので、今後ともご指導ご鞭撻の程、宜  
しくお願い申し上げます。

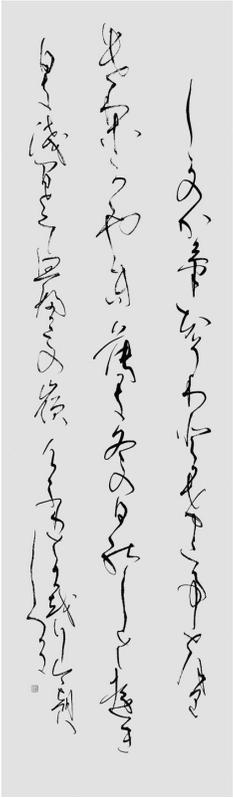
△編集部より▽  
二月に全国学生書道展と一緒  
に行われた大人の展覧会上位  
作品です。

書道芸術院準大賞



「比翼連理」

伊藤 有津



「鹿のかげ」

戸來 益江



「輝」

高原 梨秀



「冬の輪郭」

若見 苑柚



「すすむ」

花里 智子

令和
年 月 日

◇ 登録用紙 ◇

団体番号		支部名		先生名	
------	--	-----	--	-----	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **20** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふりがな	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部数変更届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※ この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

1年

の  
小一 くだうりさ

あめ  
小一 こみねゆうり

2年

くはい  
小二 いとうめい

ごさん  
小二 ほりあい

3年

人口  
小三 小池光

千本  
小三 田中一郎

4年

ダパン  
小四 上野高遠

七色  
小四 伊東信人

5年

参加  
小五 田中一男

林間  
小五 三浦夏子

6年

健康  
小六 中川恵子

文化  
小六 西村光生

中学

適切  
中一 上土 奏

宇宙  
中三 佐川達也

砂浜を  
中三 坂野 仁

閑さや  
中三 金田弘子

編集余録

○新学期がスタートしました。新しい環境に慣れましたでしょうか？

○初めまして。今月号より片岡豪峰先生の後任として「書道芸術学生版」の編集を担当させていただきますことになりました佐藤菜扇です。

皆様からの声を反映させて、より良い競書誌になるように努力していきたいと思えます。どうぞよろしく願ひ申し上げます。

○新天皇が即位され元号が「令和」になります。これは「万葉集」梅花の歌、三十二首の序文にある「初春の令月にして気淑く風

和らぎ梅は鏡前の粉を披き蘭は珮後の香を薫らす」から引用されました。「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つという意味が込められているそうです。

令は四年生、和は三年生で学習します。毛筆または硬筆で「令和」と書いてみた方はいらっしゃるでしょうか？書いてみたいと思ったら是非挑戦してみてください。

(菜扇)